PIWU Postal Industry Workers Union

# くれ

１０２２号
２０２６年　２月　３日
郵政産業労働者ユニオン
呉支部発行

←中国地本ＨＰへ
PC・スマホ等からこの
情報が閲覧可！

メールはこちら→

## 衆議院選挙 2月8日投票日

今回の衆院選の最大の争点は、物価高への対応と国民生活の立て直しである。

食料品やエネルギー価格の上昇が続く中、与党は賃上げと成長戦略を軸に「経済の好循環」を強調する一方、野党は消費税減税や給付金の拡充など、より直接的な家計支援を訴えている。物価高を「成長で乗り切る」のか、「負担軽減でしのぐ」のかが大きな対立点だ。

次に重要なのが、社会保障と少子化対策である。少子高齢化が急速に進む中、年金・医療・子育て支援をどう持続させるかが問われている。政府与党は財源確保を重視しつつ制度改革を進める姿勢だが、野党側は負担増への懸念から、財源の在り方や優先順位の見直しを主張している。

安全保障と外交も大きな争点だ。防衛費増額や日米同盟の強化について、与党は国際情勢の厳しさを理由に必要性を訴える。一方で野党には、専守防衛の原則や財政負担への懸念から慎重姿勢を示す党もあり、立場の違いが明確だ。

さらに、政治とカネの問題も有権者の関心が高い。政治資金の透明性や不祥事への対応について、与党は制度改善を進めるとする一方、野党は改革が不十分だとして厳しい姿勢を取っている。

今回の衆院選は、短期的な生活支援だけでなく、日本の将来像をどう描くのかが問われる選挙と言える。有権者一人ひとりが争点を見極め、選択することが重要だ。

### 選挙をなめるな

前回指摘した呉局の問題点ですが、積極的な改善は行っていないようです。時間前着手は黙認、配達業務だけで時間ギリギリなのに営業の締め付けを止めようとはしません。営業に力を入れたいのであれば時間的余裕を作るべきですが、寧ろ逆に減配置で社員を酷使しています。

選挙期間中にも減配置をしていますが、選挙郵便は通常郵便より気も遣い時間も使います。時間的余裕がなければ誤配や誤転送誤還付を誘発し、その影響は計り知れません。選挙をなめているし、日本の行く末を楽観視しすぎだと思います。

大事な選挙はがきを危険に晒している現状を候補者が知ればどう思うでしょう？私が立候補していたら、こういう業務運行は「即刻中止すべき」と本社に駆け込むと思います。

もっと真剣に郵便と向き合ってみませんか？こういう差出人を無視した取扱いが郵便離れに繋がっているのではないでしょうか？

それはそうと皆さん、必ず選挙に行きましょうね！

## 選挙が頭から離れない歌

ブラックジャックによろしく　佐藤秀峰

## 今後の予定

●２月１０日(火)　１７：００～
**第６回呉支部執行委員会**
支部事務所

●２月１５日(日)　１３：３０～
**第２回支部長書記長会議**
広島オフィスセンター